

事務事業名 公害対策事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：368

施策：	24	快適な生活環境の促進	財務コード	01040107-02-319
基本事業：	03	生活環境に関する害の減少	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	苦情及び相談件数（騒音・振動、悪臭） 苦情及び相談件数（草木の繁茂等）		担当課	環境課
			担当係	環境保全



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民・事業所		大気汚染測定 公共用水域水質測定（測定結果を参考に、関係法令に基づき、啓発や指導を行う） 地下水水質測定 桜谷ため池水質・土壌測定 自動車騒音常時監視 騒音、振動、悪臭測定（測定結果を参考に、関係法令に基づき、啓発や指導を行う）				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		騒音、振動、悪臭測定（測定結果を参考に、関係法令に基づき、啓発や指導を行う）				
公害防止のための監視、啓発、情報提供を行うことにより生活環境を保全する。		公害問題の苦情処理（公害発生源へ改善指導等） あき地の土地所有者に雑草等の草刈指導 公害発生時の対応（公共水域における油吸収など） 特定建設作業等の届出窓口				

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
公害に関する相談のうち継続しなかった案件の数	件	74	73	55	70			50
公共用水域のBODが基準値を超えた河川箇所数	箇所	1	1	0	0			0

5. コスト								
事業費	計	千円	5,190	5,507	6,661	7,482		
	国	千円		0	0	0		
	県	千円	541	596	924	924		
	地方債	千円		0	0	0		
	その他	千円		0	8	8		
	一般	千円	4,649	4,911	5,729	6,550		
正職員人工数		人工	0.9	0.9	0.9			
正職員人件費		千円	7,129	6,955	7,034			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	12,319	12,462	13,695	7,482		

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	< 状況 > 相談件数は昨年と同程度となっている。相談があった案件については、現地確認の上、関係者の調整により、解決をみている。BODが基準値を超えた河川は、昨年と同じであった。 < 原因 > 相談件数に占める野外焼却の割合が増加している。農地や農業従事者が発生源となることが多い。 < 課題 > 野外焼却の相談は、古くからの農地と新しい市街地の境界付近で多くなっており、例外の焼却に該当する場合であっても、周辺生活環境への影響があり、近隣住民から苦情等が出た場合は、指導の対象としている。解決のためには、すき込みや堆肥化など野外焼却以外の方法への転換が必要。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	法定受託事業	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし
成果向上余地	中程度		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）		改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）						

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）		備考・特記事項 or 進行管理欄
環境基本法及び公害関係法令に基づき事業を行っている。公共用水域水質・地下水水質・自動車騒音を定期的に測定しており、関係法令に定める環境基準値をおおむね満たしている。		